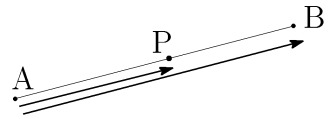


### 3点 A, B, P が同一直線上にあるための条件

#### ● 3点 A, B, P が同一直線上にあるための条件 (1) ●

$\vec{AP} = t\vec{AB}$  となる実数  $t$  がある。



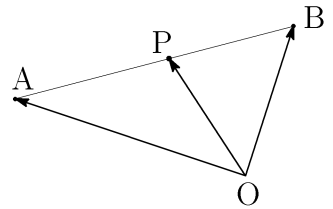
上の条件式は点 A を基準として作ったものである。この式を外部の点 O を基準として作り変えてみると

$$\begin{aligned} \vec{AP} &= t\vec{AB} \\ \vec{OP} - \vec{OA} &= t(\vec{OB} - \vec{OA}) \\ \therefore \vec{OP} &= \vec{OA} + t\vec{OB} - t\vec{OA} = (1-t)\vec{OA} + t\vec{OB} \end{aligned}$$

つまり、 $\vec{OA}$  の係数と  $\vec{OB}$  の係数を足して 1 になればよい、ということになるから、3点 A, B, P が同一直線上にある条件は、 $s = 1 - t$  とおくことにより、次のように書き換えられる。

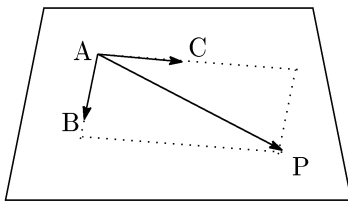
#### ● 3点 A, B, P が同一直線上にあるための条件 (2) ●

$\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$  ただし、 $s + t = 1$

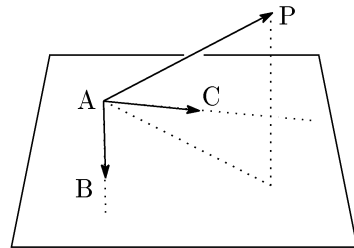


### 4点 A, B, C, P が同一平面上にあるための条件

空間にある 4 点は同じ平面上にあるとは限らない。



[4 点が同一平面上にある]



[4 点が同一平面上にない]

もし、上左図のように 4 点が同一平面上にあるとしたら、 $\vec{AP}$  は、 $\vec{AB}$  と  $\vec{AC}$  を用いて分解することができる。つまり、

$$\vec{AP} = s\vec{AB} + t\vec{AC} \quad (s, t \text{ は実数})$$

と表すことができる。しかし上右図のように 4 点が同一平面上にない、 $\vec{AP}$  だけが平面から浮き上がってしまっていたら、どんなに頑張っても  $\vec{AB}$  と  $\vec{AC}$  だけでは表現できない。つまり、次のようにまとめられる。

#### ● 4点 A, B, C, P が同一平面上にあるための条件 (1) ●

$\vec{AP} = s\vec{AB} + t\vec{AC}$  となる実数  $s, t$  がある。

上の条件式は点 A を基準として作ったものである。この式を外部の点 O を基準として作り変えてみると

$$\begin{aligned}\overrightarrow{AP} &= s\overrightarrow{AB} + t\overrightarrow{AC} \\ \overrightarrow{OP} - \overrightarrow{OA} &= s(\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}) + t(\overrightarrow{OC} - \overrightarrow{OA}) \\ \overrightarrow{OP} &= \overrightarrow{OA} + s\overrightarrow{OB} - s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OC} - t\overrightarrow{OA} \\ \therefore \overrightarrow{OP} &= (1 - s - t)\overrightarrow{OA} + s\overrightarrow{OB} + t\overrightarrow{OC}\end{aligned}$$

つまり、 $\overrightarrow{OA}$ ,  $\overrightarrow{OB}$ ,  $\overrightarrow{OC}$  の係数を足して 1 になればよい、ということになるから、4 点 A, B, C, P が同一平面上にある条件は、 $r = 1 - s - t$  とおくことにより、次のように書き換えられる。

● 4 点 A, B, C, P が同一平面上にあるための条件 (2) ●

$$\overrightarrow{OP} = r\overrightarrow{OA} + s\overrightarrow{OB} + t\overrightarrow{OC} \quad \text{ただし, } r + s + t = 1$$

**問題** 1 辺の長さが 1 の正四面体 OABC の内部に点 P があって、等式  $2\overrightarrow{OP} + \overrightarrow{AP} + 2\overrightarrow{BP} + 3\overrightarrow{CP} = \vec{0}$  が成り立っている。

- (1)  $\overrightarrow{OP}$  を  $\overrightarrow{OA}$ ,  $\overrightarrow{OB}$ ,  $\overrightarrow{OC}$  を用いて表せ。
- (2) 直線 OP と底面 ABC との交点を Q とする。OP : PQ を求めよ。